

平成29年度

大東市安心・いきいきネット相談支援センター
活動報告書



大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会
平成30年8月作成

もくじ

活動報告書を発行するにあたり.....	1
平成29年度 活動実績.....	2
平成29年度 個別相談件数.....	7
ワーキンググループ活動.....	9
おわりに	15

活動報告書を発行するにあたり

近年、少子・高齢化の急速な進展、核家族化などにより、住民相互のつながりが希薄化するなど、地域福祉を取り巻く環境の構造的な変化を背景に、地域住民の抱える生活における課題の多様化、複雑化が進んでおり、1つの支援機関だけでは解決することが困難な複合的な課題を抱える人が増えています。

大東市においては、平成16年にコミュニティソーシャルワーカー（以下、CSWという）を住道中学校区へ配置したことを皮切りに、平成17年度には全中学校区に配置し、既存の福祉サービスだけでは対応困難な課題解決のため、地域における見守り・発見・つなぎ機能の強化を図ってきました。

その後、平成29年度には、きめ細やかな地域支援活動ができるように、小学校区へ変更になりました。

CSWは、住民の身近な相談窓口として、支援を必要とする人の見守りや課題の発見、相談援助、必要なサービスや専門機関への橋渡しをするなど、要援護者の課題解決のための支援をするとともに、地域の福祉力を高め、セーフティネットの体制づくりや地域福祉の計画的な推進に協力しています。

また、平成27年4月からは、経済的な不安を抱えながら生活をされている人など生活困窮者を対象とした支援制度が始まり、行政とCSWとの連携が増々重要になってきます。

本活動報告書は、CSWが地域で歩んできた実践とその考察を通して得た事柄を掲載しております。CSWの現状の活動が多くの方々に周知され、ご理解いただけることを望むと共に「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」への一歩になれば幸いです。

大東市福祉・子ども部福祉政策課

平成 29 年度 活動実績

1. 地域福祉計画の支援

活動目的：大東市地域福祉計画の策定に積極的に関与、協力し、策定された地域福祉計画に基づいた活動を行い、点検をしていく

実績：地域福祉計画の改定に向けて、必要な情報を行政に提供しました。

【4件】

- ・ 壮年層、若年層の地域組織への参加状況、福祉委員会活動の報告
- ・ 日常生活自立支援事業の待機が出ていることや、成年後見制度の申立者がいないケースなどを報告 等々

2. 地域住民活動のコーディネート、企画及び立案機能の強化

活動目的：住民活動の育成及び支援に努め、要援護者の見守り、発見、相談等を行うとともに、必要に応じて要援護者の支援を行う

実績：住民懇談会の開催 **【39件 延べ262人】**

- ・ 地域での困りごとや課題、要援護者の見守りや発見のための情報交換を行いました。



地域住民懇談会

実績：住民活動のコーディネート 【388件】

- ・要援護者の見守りや情報共有の場として、地域の集いの場に
参加又は協力などを積極的に行いました。

子育てサロン

世代間交流イベント

高齢者サロン

校区福祉委員会活動（総会・会議）への参加

民生委員児童委員会活動（会議）への参加

お茶のみ休憩所など地域住民活動の運営への参加、協力



子育てサロン



世代間交流



高齢者サロン



活動目的：既存の公的サービス等との協働（つなぎ）により、地域福祉を推進すること

実績：市内外関係機関との連携、情報の共有、会議への参加 【347件】

・連携した関係機関

地域包括支援センター、大東市社会福祉協議会、行政
介護保険サービス事業所、居宅介護支援事業所、
医療機関、保健所、保育園、幼稚園、小学校、中学校、SSW、
ハローワーク、障害者相談支援事業所 等々



おもちゃのチャチャチャ

(障がい児とその家族のサロン)

(NPO あとからゆっくり・NPO ほうじょう共催)



会議 (CSW 協議会)



つなぎ (大東市社会福祉協議会)

**活動目的：要援護者等の支援にとって有用なサービスを新たに研究・開発
および普及するよう努めること**

実績：要援護者等の組織化支援 【1件】

地域での居場所作りについての支援を行いました

実績：研究開発した新たなサービス 【5件】

小地域ケア会議の開催準備を新たに行いました

3. ケース検討会の開催

活動目的：特に困難な支援ニーズおよび複数の機関等による連携が求められる事例に関して、ケース検討会の開催をするものとする

実績：各専門機関と一緒にケース検討会を開催しました 【168件】

- ・小地域ケア会議でのケース検討会
- ・虐待ケース検討会
- ・引きこもりケース検討会
- ・高齢者、精神障がい者、知的障がい者ケース検討会 等々

4. 研修会の開催

活動目的：各種の保健福祉サービスをはじめとした支援サービス、利用方法など情報の提供や地域の課題と思われるテーマに関してCSWが積極的に啓発を行う

実績：地域住民に向けて研修会の開催 【15件】

- ・ 認知症研修
- ・ 多様な性の在り方研修
- ・ 介護予防教室
- ・ 認知症サポーター研修
- ・ 食生活推進委員会勉強会
- ・ 高齢者サロン、校区福祉委員会研修



等々

5. 各種サービスの利用への支援

活動目的：要介護者等または家族等の各種サービスの利用申請に関する支援を行うこと

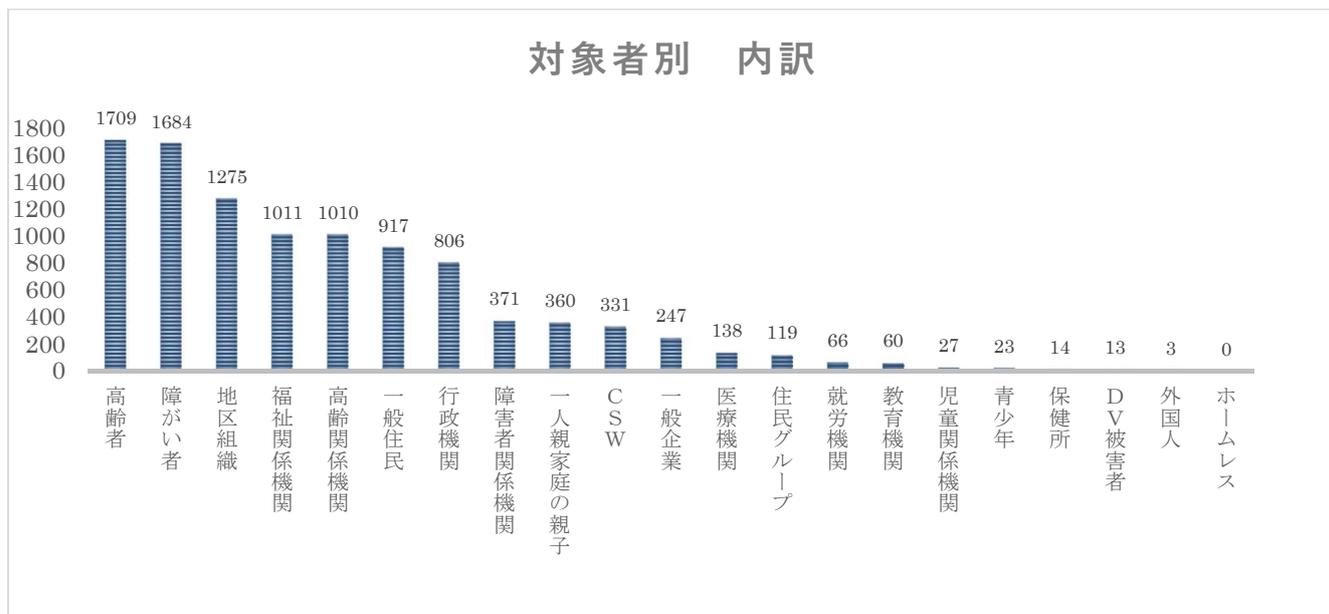
実績：各種サービス利用申請支援を行いました【64件】

- ・ 生活保護申請
- ・ 介護保険、障害者手帳申請
- ・ 小口貸付金申請

平成29年度 個別相談件数

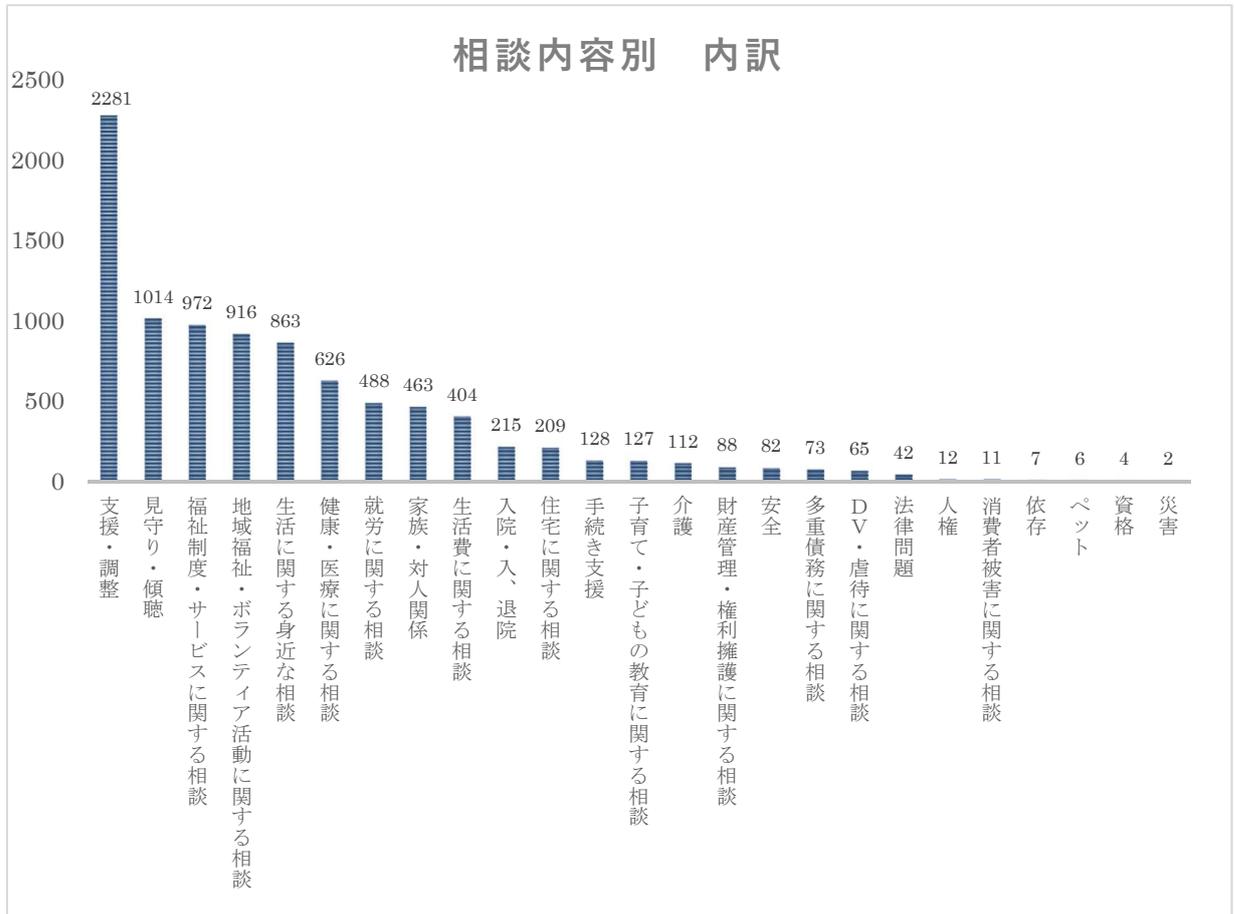
日々の相談業務の内訳と考察（同一者複数回を含む）

① 対象者別件数 【計 10603件】



「高齢者だけ」や「障がい者だけ」という偏りがなく、地域で支援が必要な方の相談を多く受けることができました。これは大東市からの事業委託が特化されることなく、各事業所の特性を活かした上、連携ができる体制が整っているからだと考えます。一般住民からの直接相談も増加しており、地域での周知も上がってきています。

②相談内容別件数 (同一者複数回を含む)【計 9210件】



相談内容は、支援・調整が多く、支援体制・情報の共有・会議調整などが含まれています。これは CSW が専門機関等との連携ができており、「専門機関へのつなぎ」「制度・サービスにつながらないセーフティネットから外れている人への支援」を積極的に行っていることが、このような件数として表れています。

ワーキンググループ活動

大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会独自の取り組み

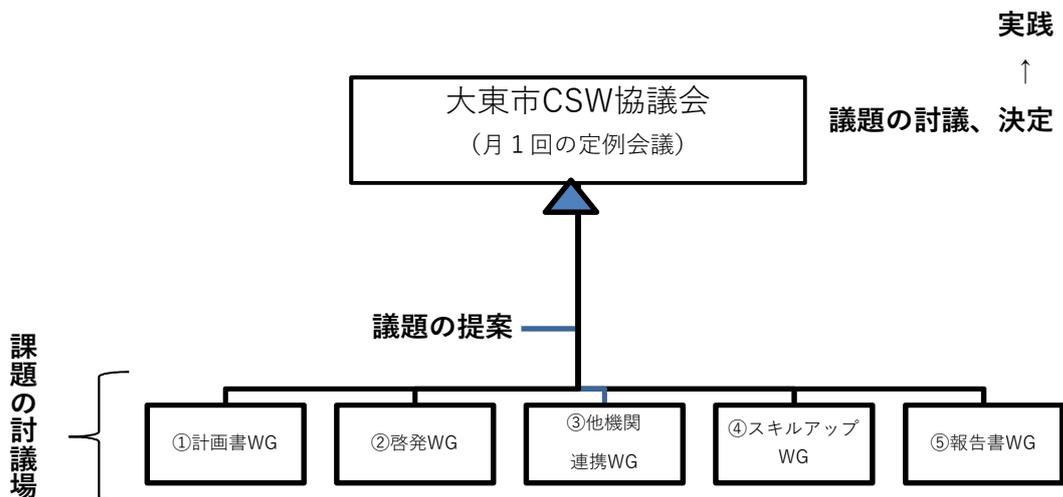
【ワーキンググループの発足】

我々CSWは、個々のエリアでケース対応等を行う一方、情報共有の場として月1回の定例会議を実施している。

平成29年度は、地域の方々や関係機関から「さすがCSW!」と実感してもらえることを目的に「個々の能力アップ」「役割分担の構築」「活動のチェック機能強化」「地域共生社会の実現に向けた他機関連携の模索」「活動内容を伝えていく宣伝部隊をつくる」という達成課題を掲げ、5つのワーキンググループ(以下、「WG」)を発足させた。WGは3人一組で構成し、グループ内で討議した内容を定例会に議題提出し、定例会議の中で協議、決定し、個々の活動で実践する形をとった。

(5つのWG)

フロー図



各WGの取り組みは次頁のとおり。

①計画書 WG

活動目的

大東市 CSW 協議会事業計画（案）の作成および、進捗状況の確認。
また、活動における目的や目標の設定を行うこと。

活動実績

「第 1 回会議」

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）15：00～

場 所：NPO ほうじょう 3 階小会議室

参加者：計画書 WG3 名

（討議内容）

- ・大東市 CSW 協議会の現状に関する意見交換
- ・大東市 CSW 協議会の目的の確認および目標の設定
- ・平成 30 年度大東市 CSW 協議会事業計画の検討
- ・各 CSW が円滑に活動するための資料（レギュラーパッケージ）の検討

「第 2 回会議」

日 時：平成 30 年 3 月 7 日（水）15：30～

場 所：NPO ほうじょう 3 階小会議室

参加者：計画書 WG3 名

（討議内容）

- ・平成 30 年度大東市 CSW 協議会事業計画（骨子案）の検討
- ・平成 30 年度レギュラーパッケージ（案）の検討

②啓発WG

活動目的

CSW の認知度を上げること

活動実績

「第1回会議」

日 時：平成29年11月22日(水) 14:00～

場 所：NPO 法人あとからゆっくり

参加者：啓発 WG3 名・村尾氏

(討議内容)

- ・啓発グループとしての活動内容
- ・知るときゃ安心！シンポジウムへの参加について①

「第2回会議」

日 時：平成29年12月11日(月) 13:00～

場 所：NPO 法人あとからゆっくり

参加者：啓発 WG3 名

(討議内容)

- ・知るときゃ安心！シンポジウムへの参加について②

「第3回会議」

日 時：平成29年12月22日(金) 15:30～

場 所：NPO 法人あとからゆっくり

参加者：啓発 WG3 名

(討議内容)

- ・知るときゃ安心！シンポジウムへの参加について③

当日配布するチラシのイラストを描いて下さる方と打ち合わせ

「第4回会議」

日 時：平成30年2月13日(火) 16:00～

場 所：NPO 法人あとからゆっくり

参加者：啓発 WG3 名

(討議内容)

- ・今後の啓発方法について

③他機関連携WG

活動目的

地域の中で、複雑・多問題化する課題に対応することが増えてきているが、CSW だけで対応するには到底困難である。年齢や専門分野の幅がない CSW の特性を活かし、横断的にさまざまな機関とつながりを作ることが必要であり、そのため、他機関の役割を知り、CSW の役割を伝える活動を目的とする。

活動実績

「第 1 回会議」

日 時：平成 29 年 12 月 4 日（月） 13：30～

場 所：大東市総合福祉センター

参加者：他機関連携WG 3 名

（討議内容）

大阪府地域福祉支援計画第 3 期、大東市地域福祉計画第 3 期を持ち寄って、求められている CSW 像の共有。実際の活動の中で感じる CSW のできること、限界点の意見交換。

「第 2 回会議」

日 時：平成 30 年 1 月 24 日（水） 14：00～

場 所：大東市総合福祉センター

参加者：他機関連携WG 3 名

（討議内容）

- ・「CSW の役割について」の意見のまとめを作成。

「第 3 回会議」

日 時：平成 30 年 3 月 5 日（月） 9：30～

場 所：大東市総合福祉センター

参加者：他機関連携WG 3 名

（討議内容）

- ・次年度に向けての動きの確認。

「意見交換」

日 時：平成29年12月20日（水）9：30～

場 所：大東市役所

参加者：CSW 8名、福祉政策課2名

（討議内容）

- ・CSW 協議会内で、「CSW の役割について」の意見交換。KJ法を用いて。

KJ法：データをまとめるために考案された手法。データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し、論文等にまとめていく。

④スキルアップWG

活動目的

CSW が地域相談の要になっていくための必要なスキルを考え、勉強会を開催しCSW メンバーのスキルアップを目指す。

活動実績

「第1回会議」

日 時：平成29年11月21日（火） 9：30～

場 所：川村義肢株式会社社会議室

参加者：スキルアップWG 3名

（討議内容）

- ・CSW にはどのような技能が必要か
- ・自分たちのスキルを講師として活かしていきたい
- ・初回勉強会を平成29度中に開催。テーマを「コーチング」とする

「第2回会議」

日 時：平成29年3月8日（木） 13：30～

場 所：大東市社会福祉協議会内

参加者：スキルアップWG 3名

（討議内容）

- ・21日開催のアンケート結果報告
～コーチングの理解が深まり、もっと深めていきたいという意見が多い。
今後面談やコミュニケーションで意識して活用したい。

第1回勉強会 「コーチング」

日 時：平成29年2月21日（水） 16：00～

場 所：大東市社会福祉協議会内

講 師：暮らしいきいき館 参加者：CSW 6名

コーチング：人材開発の技法の一つ。対話によって相手の自己実現や目標達成を図る技術である。相手の話をよく聴き（傾聴）、感じたことを伝えて承認し、質問することで、自発的な行動を促すコミュニケーション技法である。

⑤報告書WG

活動目的

C S W協議会時に月報の確認。各C S Wの個別件数等のデータを集約し、C S W協議会の活動報告書の作成。

活動実績

「第1回会議」

日 時：平成29年1月16日（火）10：00～

場 所：北条人権文化センター 1階相談室

参加者：報告書WG3名

（討議内容）

- ・報告書作成の目的と報告書を見てもらう対象について考える
- ・過去の報告書を見て、平成29年度報告書にどうつなげていくか
- ・報告書完成のイメージについて

おわりに

地域において生活上の課題を抱える個人や家族への援助と、地域の生活環境の整備や住民の組織化等を支援する活動を行っています。平成 29 年度は市内中学校区の配置から、より地域活動に密着できるように CSW の配置が小学校区に変更となりました。それにより、小学校区単位で活動している校区福祉委員の方々と、ともに活動できるようになったことによって、より細かく住民を支援することができるようになりました。

CSW は平成 16 年の発足から様々な活動を行い、経験を積んできましたが、近年目まぐるしく変わる情勢や複雑に絡み合う課題に対応する力が、より一層必要になってきました。平成 29 年度はそれらの課題に対応できるようにワーキンググループを発足し、CSW の活動や支援の質の向上を図る取り組みも行ってきました。

地域課題においては行政も民間会社も新たな支援の発掘などを行っていますが、高齢化や人口減などの課題と、近年は単身世帯の増加、無年金などの課題も増えてきている中、地域で安心した暮らしを継続して頂くために、CSW も課題解決に向けた活動や提案を今後も積極的に展開していきたいと思えます。

CSW活動を支えていただいている皆様に、感謝いたしますとともに引き続きのご協力をお願いし、終わりの挨拶とさせていただきます。

大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会

大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会

NPO法人 ほうじょう

NPO法人 大東野崎人権協会

NPO法人 あとからゆっくり

慶生会 住道

大東市社会福祉協議会

暮らしいきいき館

ホーリーハート大東